

第7回 第11次豊田市交通安全計画素案に関するアンケート

実施期間：9月10日（金）～9月19日（日）

回答者数：192人

【1】あなたが普段利用する移動手段（最も利用する手段）を教えてください。

自動車（運転）	149
自動車（同乗<タクシー含む>）	9
バイク（同乗含む）・原付	4
自転車	16
公共交通機関（鉄道・バス等）	9
徒歩（シニアカー等電動カート含む）	5

【2】豊田市の全般の交通マナーについて、どう思いますか。

良い	12
どちらかと言えば良い	86
どちらかと言えば悪い	78
悪い	16

【3】豊田市の道路交通環境について、どう思いますか。

安全だと感じる	11
どちらかと言えば安全だと感じる	89
どちらかと言えば危険だと感じる	76
危険だと感じる	16

【4】豊田市が進める交通安全対策のうち、あなたが知っているものを教えてください。（複数回答可）

ゾーン30の導入（指定したエリア内で時速30km速度に規制するもの）	127
横断歩道のカラー舗装化（通学路や大規模公園の周辺にある横断歩道への対策）	132
押しボタン式横断者明示標識の設置（「製品名：びかつとわたるくん」、横断歩道手前における車両の確実な停止の確保）	48
スマートポールの設置（複雑な交差点においてLED表示で車両接近などを知らせるポール：実証実験中）	8
その他	6

その他

全て知らない
自転車レーン（矢羽根型路面標示）

【5】信号機の無い横断歩道を渡ろうとする歩行者を見て、手前で停止する車を見かけることはありますか。

よく見かける	21
まあまあ見かける	121
あまり見かけない	29
まったく見かけない	4

【6】交通ルールとして、Q5の状況で車は停止しなければならないことを知っていますか。

知っている	187
知らない	5

【7】交通事故を減らす対策として、特に重要だと思うものを3つ選択してください。

高齢者を事故から守る対策	53
子どもを事故から守る対策	96
歩行者を事故から守る対策	70
自転車の安全利用対策	81
二輪車・原付の安全利用対策	9
日常で利用する身近な生活道路における安全対策	49
運転者の操作ミスなどを補うような先端技術を活用した取組	36
事故の発生実態やヒヤリ・ハットの調査結果を踏まえた対策	32
市民一人一人の意識を高める地域一体での取組	22
事故発生の可能性が高い交差点の安全対策	71
交通安全意識の向上や交通マナーを身に付けるための交通安全教育	28
その他	6

その他

自動車の安全利用対策
交通ルールの遵守
免許制度の厳格運用

車両通行規制の導入
警察による取締り
高齢ドライバーの免許返納促進

【8】第11次豊田市交通安全計画の概要を読んで、ご意見があればお聞かせください。

※いただいたご意見については、文章がわかりやすくなるように整理しているほか、文体の統一、誤字の修正等をさせていただきます。

出勤時間が重なるときの渋滞がすごいので、渋滞情報の提供をお願いしたい。153号線、248号線の表示があるとよいと思う。
学校での交通ルールの徹底してほしい。
カーブミラーなどが有効か、不足はないかなど調査してほしい。
交通安全運動期間の交通安全街頭活動について、効果があるのか疑問だ。
歩行者がいても止まらない車が多い。
計画がこれまでの延長継続に見える。新機軸や抜本的に効果が出るアイデアが必要だと感じる。事故の発生実態やヒヤリ・ハットの調査結果の詳細な解析と、安全意識の高い市民の実感を踏まえた対策が必要。
ぴかっとわたるくんについて、実際にこれを押している人をほとんど見かけない。効果は上がっているのか疑問である。
ぴかっとわたるくんをつけるに至った経緯は、広報などで記事が掲載されたなどがあるか？市内に何か所くらいあるか？
信号機のない横断歩道で、特に朝の時間帯は、一旦停止をしない車が多く、ドライバーは違反と認識していないのかなと感じる。徒歩や自転車の人が安心して安全に移動できるように、環境整備と安全教育にもっと力をいれてほしい。

歩道を逆走したり、ものすごいスピードで一時停止無視など、危ない自転車をよく見かける。また、自転車レーンがあるにも関わらず、歩道を歩いているときに後ろから逆走してきた自転車の方に罵倒されたことがある。車の運転についても注意喚起をするべきだが、自転車に関してもマナー向上にむけて対策を強化してほしい。

ドライバーに交通マナーの向上するための啓発をしてほしい。

例)

- ・交差点などでの事故を減らす為に、2段停止（停止線で停止+見える位置でもう一度停止）の実施普及の反映
- ・車間3秒確保の徹底普及
- ・横断歩道での歩行者保護（停止）の徹底普及
- ・夕方の早めのライト点灯
- ・ハイビームの適切な利用

サイクリング用の自転車、原付の運転が危なく感じる。

車を運転するしないに関わらず、交通ルールや譲り合いを知らない人が多いと感じる。まずは徹底したルールの認知と思いやりを育てる教育が必要。

歩行者や自転車自動車の運転手の法令順守やマナーに頼る段階は過ぎている。法令順守や安全に行動せざるを得ない環境の整備が必要。

信号のない横断歩道で待っていても、全く気づかず、通り過ぎる車が多いように感じる。

子供は皆、よく気を付けることが習慣になっているようで、危ない行動はめったに見かけない。しかしドライバーのルート設定が疑問に思うことがあるため、免許更新の時にでも、安全なルートを走ることについて教育したらいいと思う。

自転車、歩行者も含めてマナーよりもルールを守らないドライバーが多い。ルールを守らない一番の原因は速度超過だと感じる。ルールを守れる人材教育を推進してほしい。

自転車が横断歩道に猛スピードで突っ込んできたり、車の出入り口を確認せずに突っ切ってくることがあるので、怖いと感じる。自転車の運転時にも、一時停止・確認を心がけてほしい。

チャイルドシートが義務付けられている年齢の子供を助手席に乗せて運転している人が多い。子供の安全確保という面では、チャイルドシートの重要性について、再度触れてほしい。

計画を立てるだけでなく敏速に進めてほしいです。

自転車の安全利用講習会を充実してほしい。自転車通学している高校生が、道路一杯に広がって並んで走る、蛇行しながらの走行、道路の右側を走るなどのマナー違反が見られる。小学生や中学生の時にしっかり交通ルールを守ることを指導するとともに、高校生への指導を強化してほしい。

集団登校の中でも、子どもが自分の身を自分で守るという気持ちになるように、小学生への教育の強化が望まれる。

歩行者の立場で、横断歩道での車両の停止を徹底してほしい。

発生件数と死傷者数の減少傾向と比べ、死者数の推移が第10次だけではなく傾向的に減少しているとは言えないのはなぜだろうか。死者を減らすことは最重要課題ではないか。

豊田市交通安全計画とは関係ないですが、不必要な警察官の取り締まりはやめてほしい。

老人や子供、歩行者が自身の意識を高めることも必要だが、完全には事故が防げないため、道路環境そのものの整備に力を入れてほしい。

全交通事故数に対する自転車事故の割合は上昇傾向で、SDGsの推進等で自転車利用の促進も考慮に入れると、自転車の安全利用の推進が重要度が増すと思われるので、自転車活用推進計画と連携した対策を実施してほしい。

道路交通環境の整備において、歩行者・自転車の分離、自動車・自転車の分離する施策が重要であるが、概要版には盛り込まれていない。最近整備された道路は、歩道を広げ、自転車が通る路肩を狭くする設計が多く、歩行者・自転車の分離が設計に反映されていない。

学校での交通安全教育を重要視してほしい。特に小中高生は自転車の運転のルールの理解が不十分なので重要。

警察は、黄色信号で交差点に入った車を捕まえるより、携帯をしながらとか、ウインカーを出さずに曲がったり、後ろから抜かして来て左折していく運転などする車を捕まえてほしい。

渋滞や交通量が多くなることがある前提だと思うので、通勤時間を企業にずらしてもらって交通量の平坦化をめざすのも良い。

自治体の施策も大事だが、法的にもさらに厳しくして、それに対する取り締まりも厳しくすれば、さらに抑止力が強化されると考える。

自転車の通行帯を示す青色矢印の路面標示を多く見かけるようになったが、場所によって自転車の通るスペースのないところに無理やり線を付けている道路があり、非常に危険と感じる。また、青色矢印の上に平気で路上駐車をしているエリアがある。実態に即していない形だけの対策にならないよう、行政の体裁でなく、命を守れる施策を考えてほしい。

事故の起きやすい場所は理由があるため、ちゃんと対策をしてほしい。

交通事故の現状と課題は、警察のデータを元に裏返しの対策を書いているに過ぎない。さらに豊田市独自の分析を行い、真因を突き止めるべき。今回の交通安全計画はこれまでの事故発生数の延長線から算出される目標値を出しているだけで、交通事故を下げようという意欲・想いが見れない。また、「講じようとする施策3つの柱」が挙げられているが、現状分析とのつながりがわからず、本当にこれが今一番で実施すべきことなのかかわからない。

豊田市交通安全計画として実施して欲しいことは小学生の通学団の安全確保

豊田市交通安全計画として実施して欲しいことは高齢者の自動車運転の制限（免許返納の促進）

取締りの強化

死亡事故が減らないのには、交通ルールを守らない歩行者が多いことが原因の一つだと考えるため、高齢者をはじめ、大きな道路の横断歩道以外の横断をなくす対策が必要。

当たり前のルールが守れない市民が多い。子供はルールを守っているが大人や高齢者が守れていない。

市民各々の交通安全に関する理解がどこまで高まるかが課題。

一人一人の運転時の心がけが大切。

自転車への交通ルールの啓発を行ってほしい。

交通弱者は守られて当然という意識ではなく、自らが交通安全の意識を持ってもらえるような対策が必要。免許返納された高齢者の自転車講習やシニアカー講習。小学生の安全教室など実施してほしい。

「交通事故ゼロの豊田市を目指して」はいつまでを目標にしているのか知りたい。またその具体的な施策を教えて欲しい。

「交通安全対策を考える8つの視点」に対して「講じようとする施策の柱」が3つしかないのはなぜか。8個に対して、施策が講じられていない。少なくとも1対1で講じるべき。

コロナ禍の為か、以前よりロードバイクに乗る人を見かけるようになったが、マナーが良くない自転車に乗る人を今日も見かける。自動車を運転する時、自転車に乗ったり歩く時もそれ中心に考えてしまうと思うため、一人一人が相手の気持ちになって動ければと思う。

毎年交通事故死亡者が減っていて頭の下がる思いです。豊田市では自転車の通っていいところを車道に分かりやすくかいていて、市内の危険な場所をよく把握されているため安心して生活ができる。

交差点で感じるのは、信号が黄色になっても渡りきろうとする車両が多いことです。全ての信号に時差式の右折矢印信号を設置してほしい。

自転車が車道を走行することには無理がある。全体に道路の整備を進めることが交通安全につながるのでは。

ゾーン30設定など記載されているが、過去に危険な通学経路に対して対策要望をした際は条件に合わずゾーン30やハンプ設置など含め何もできないと回答された。危険と認識している箇所、整備計画などが示されないという優先順位で対応がされているか見えないため、計画など共有してほしい。

豊田市の公共施設は車じゃないと行けない、公共交通機関を使っても、徒歩の時間がとても長くて、行きづらい場所が多いため、車以外の選択肢も考慮して作ってほしい。

車道脇に自転車ゾーンも作られたが、交通量の多い場所では自動車がどンドンスピードを出して走っているの、怖くて自転車では走れない。

交通事故全体は減っている点は良い。高齢者も交通安全学習センターを利用し学び直しの機会が必要ではないか。

豊田市の高齢化が進み、歩行困難者、車いす利用、シニアカーでの移動など日常生活に不安を抱えている人達が増えると考え。生活道路環境整備の計画に『ゾーン30の導入』とあるが、全ての団地入口に『ゾーン30』と注意喚起の表示をしてほしい。

狭い既存の道路にあれこれ対策をするのは困難だと感じる。

豊田に来た頃、交通マナーの悪さに驚いたため市民の意識を高めて行く事が必要。

高齢者の自転車や自動車の運転が心配。横道から止まらずに出てきて、右も左も自転車が来ることがある。

普段生活する道路は狭いので、自動車の運転はとても怖いと感じる。

警察は一旦停止などこっそり隠れて見張っていないで、根本的な取り組みをしてほしい。

ゾーン30をもっと導入してほしい。

<p>横断歩道のないところで道路を横断する人をよく見かける。横断歩道の設置基準は既設の横断歩道からの距離で判断されると思うが、現実には多くの人があるように無理に横断しようとするということはそれだけの理由とニーズがあるはず。既存の横断歩道からの距離に加味して、現実問題としてそこを渡ろうとするニーズがどれくらいあるかを考慮しての横断歩道の増設の検討してほしい。</p>
<p>信号のない横断歩道をより安全に渡るために、以前は設置してあったような「横断旗」を常備することを検討してほしい。</p>
<p>高齢者の交通事故の割合が高いので対策が必要。高齢者ドライバーには免許更新時に講習と検査をしてほしい。</p>
<p>高齢者の夜間の歩行の際には反射板を付けてもらうようにする。</p>
<p>子供の自転車事故防止の為に学校での講習の機会を増やしてほしい。</p>
<p>道路整備ではゾーン30はスピード出し過ぎを予防出来て良いと思う。学校の周辺や狭い道に増やすと良いと思う。</p>
<p>発生件数は減っているのに死者数（の割合）が増えている原因は、被害者側にあるのか加害者側にあるのか知りたい。</p>
<p>スピード違反取締カメラや交通違反取締カメラなど、カメラ監視による取締を行ってほしい。カメラは設置されていることを見えるようにすれば、違反を抑制できる。</p>
<p>右折レーンがあるところは右折信号をつけてほしい。</p>
<p>歩行者分離があるところとないところがありわかりにくいので、すべて分離にするか斜めも横断歩道にして差別化してほしい。優先順位を歩行者、右折車、直進左折とし交差させないもしくは信号なしラウンドアバウトで交差させない。</p>
<p>横断歩道は立体に見えるようにし、ダイヤモンドだけでは分かりにくいのでそのエリアに入ったらサイドラインを赤くし狭まるように資格効果でみせて減速させるようにする。電波出して車載器で受信したら減速させるなど、歩行者がいれば自動的に減速するような仕組みが必要。</p>
<p>歩道橋よりアンダーパスにしてほしい。</p>

信号なしの横断歩道で歩行者が待っていても、止まる車が少
ないため、交通ルールをよく知らない運転者が多いことを残
念に思う。

交差点で、左折時の安全のためのゼブラゾーンの設置されて
いる意味を知らない運転者が多い。左折時にはゼブラゾーン
を踏まないように、横断歩道に直角に侵入して左右からの歩
行者をより広い視野で確認して走行しなければ、折角の安全
対策の意味がない。多くの運転者がゼブラゾーンの意味を理
解し、実践してほしい。スロー・ストップ・スマートの実践
の為にも。

歩行者通路の青色塗色帯の自転車用と歩行者用がはっきりと
分かれており、安全に・スムーズに移動できる。

自転車乗車用ヘルメットの購入補助は良いと思う。自転車条
例に則した自転車の安全利用推進の強化について、歩道の段
差をフリーにすることはできないか。自転車の運転者が段差
を避けて車道に出てくるので、危険に感じるがあります。

住宅地区でのスケボー対策も必要だと思う。

白バイ、パトカーによる日常的な監視が有効と思う。横断歩
道での停車が以前はほとんど守られていなかったが、最近
は半数は守るようになった。意識が変わってきている。

歩行者の交通対策があまり見えない。

市広報でもあまり交通対策が取り上げられていない。また、
市民向けPRの啓発資材が少ない。もっとあらゆる機会に配布
すべきである。

年々減少傾向にあることがわかり効果的だと安心した。

信号の無い横断歩道は本当危ないので前もって知らせるため
に色を変えて注意するようにしてほしい。また、夜は見にく
いのでライトなどつけてピカピカさせてほしい。

歩道がない道が多く、人がよく歩きそうな場所、交通量の多
い道路はしっかり歩道を確保してほしい。歩道と車道は街路
樹で分離が望ましい。

自転車のゾーンが車道に最近よく作られているが、ゾーン幅が狭いし、車がビュンビュン走るすぐ横を自転車で走るのはとても怖いから使いたくない。車を運転する側としても、自転車を追い越す時にとっても怖く、また無理に抜けないときは渋滞にもなる。車道にゾーンをもうけるより、歩道では自転車の低速運転(歩行者がいる時はより低速に)を啓発していく方がよいと思う。

最近、見通しを重視してか、街路樹のない道路が多く作られている気がする。がらんと何も無い交差点や道路はかえって視界に情報が入りすぎて注意散漫になる。街路樹は運転者の視線誘導効果、車と歩行者の緩衝帯の効果がある。また木陰が出来ることにより、歩行者を熱中症から守ってほしい。

大きな道路を作るより、こどもの通学路の危険箇所などを改善してほしい。

豊田市は運転マナーの良い人が多く、黄色信号で突っ込む車をほとんど見ず、譲り合いの精神が結構浸透していると思う。

サイクリングロードの整備がもう少し整うと良い。

名鉄三河線の複線化が進めば公共交通機関シフトも進むと思う。

上に書いてあったような色分けがもっと免許更新の時とかにちゃんと説明してほしい。いつの間に色が付いて、雨の日に滑って危険と感じる。

発生件数は確実に減ってきているので、行って来たことは間違っていないと思う。

交通量が多い外環状線の勘八エリアにおいて、通勤時間帯において学生の自転車利用も多く、自転車走行帯が整備されていない車道を自転車が走行している。外環で車の走行速度は速く、自転車が走行していると車線変更をしなければならない。自動車利用者にとっても、自転車利用者にとっても、危険だと感じる。

豊田市内において、特に事故の多い箇所を重点的にトータルに現状分析し、事故原因を追求し直す。それに基づいた対策、取組が必要だと思う。

交通事故が年々減少傾向であることを知り嬉しく思う。信号機のない横断歩道で止まる車が少なくなることがとても気になるため、免許証の更新時や回覧板、広報とよたなどでもっと周知してほしい。

自転車用道路をもう少し増やしてほしい。

交通ルールを守れない人がいる。例えば、信号を無視して出て来る車両や横断者を見かける。車両の方向指示器を見て、交差点等横断しますが方向指示器を出すのが遅い車や出さない車もいたり、本線へ斜めから合流する時、方向指示器の出し方を知らない人がいる。

もっと街灯を多く設置すべき。暗い道の歩行者は本当に気が付きにくい。

狭い道路に自転車用のラインがありますが、どう見てもこの狭さじゃ自転車で走れないというのをよく見かけます。安全性を考えれば返って危険だと感じる。

交通の往来の多い道路で無理に歩行者が渡り、危険な道路もあるため歩行者が渡れないように対応すべきと感じる。危ない場所は、地域住民の意見を反映させるなどして、交通事故を未然に防ぐ必要があると思われます。

渋滞が多く、信号の効率が悪いと感じる。

ヘルメットの購入の補助が出れば、ヘルメットを被る人が増えると思う。

横断歩道を目立つようにしてほしい。

二輪車のマナーが良くないと感じているので安全講習を強化してほしい。

信号のない横断歩道に歩行者がいても止まらない車、一時停止線の手前で止まらない車が多いため、歩行者に優しい運転を心がけるように安全講習してほしい。

道路整備が一番の事故防止に繋がると思う。

自転車のヘルメット着用も定着していくと思う。また、歩行者と自転車に接触の危険がある狭い交通量の多い道路は優先的にラインをひいてほしい。

さらに死傷者数を減らすため自動運転技術の支援を市からも積極的に行ってほしい。

豊田市を走る車はマナーが悪く感じる。

交通事故が以前より減少していても、やはり亡くなる方が一定数はいる。これからも気をつけて運転し、加害者にも被害者にもならないよう気を引き締めたい。

子供の交通安全教室は学校でたまにやるが、高齢者用交通安全教室も定期開催し、自転車のルールももっと呼び掛けるべきだと思う。

イベントともっとセットにし、地区密着型のイベントで豊田市内をもっと回るようにするとよいのではないかと思う。

危険な交差点があるので、信号機設置などの対策を是非してほしい。

店舗の宣伝用の旗が歩道に飛び出していて、視界が悪いところがあるので対策してほしい。

事故を起こさない、事故に巻き込まれない、事故は絶対に避けるべきという意識を持つ。事故を起こすことは、加害側・被害側に関わらず、時間的、経済的損失に繋がるという意識を持つ。道路は、安全でないという意識を持つ。全ての市民が、気づくよう啓発が必要であると考えます。

交通事故のほとんどが、不注意だと思う。不注意は、個人の問題が大きく、意識やモラルの向上などソフト的な施策でどうにかできるようなことではない気がする。過去に事故歴のある人が車を新規購入する時には自動ブレーキ機能を必須にしたらどうだろうか。

歩行者がいる横断歩道は車が止まるのは当たり前のことなのに、周知されてないような気がする。自動車学校ではもちろん社会人になってからも会社で学ぶ機会を作ってほしい。とまってくれてありがとう運動は広がっていくといいなと思う。1度やってもらった経験があるのですが、すごく嬉しい気持ちになり横断歩道を見かける度歩行者はいないかなと気を付けるきっかけにもなった。